

氏名： 平岡 公一 (HIRAOKA Koichi)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
学位： 社会学修士 (1980 東京大学)  
職名： 教授  
専門分野： 比較社会政策、社会福祉政策論、福祉社会学  
E-mail： hiraoka.koichi@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

社会福祉／社会政策／社会保障／政策評価／社会学  
social welfare and social services / social policy / social security / policy evaluation / sociology

#### ◆主要業績

総数 (4) 件

- ・平岡公一「政策としての地域福祉計画」牧里毎治・野口定久編『協働と参加の地域福祉計画——福祉コミュニティの形成に向けて』ミネルヴァ書房、43～54頁、2007年10月。
- ・平岡公一「貧困と社会的排除への対応」『地域と社会福祉』「イギリスの社会福祉の現状と課題」松村祥子編著『欧米の社会福祉』財団法人放送大学教育振興会、23～41頁、99～110頁、149～159頁、2007年4月。
- ・平岡公一「社会保障・社会福祉政策部門 (2006年度 [社会福祉] 学界回顧と展望)」『社会福祉学』第48巻第3号、162～170頁、2007年11月。
- ・「イギリス」小田兼三・竹内一夫・田淵創・牧田満知子編『人口減少時代の社会福祉学』ミネルヴァ書房、212～220頁、2007年12月。

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

- 1) 科研費プロジェクト：①「日本型社会福祉システムの確立・変容過程の実証的研究——国際比較の視点から」：②「介護保険制度における集中的在宅ケアと施設利用マネジメントのシステムの開発と評価」③「効果的福祉実践モデル構築プログラム評価アプローチ研究」
  - 2) 特別教育研究経費による事業の一環としておこなっている研究：①社会サービスにおける政策評価に関する研究——研究動向の分析とセミナーの開催②社会保障制度の合意形成に関する研究——社会保障に関する意識の全国調査を実施
  - 3) グローバルCOEプログラムによる共同研究——教育・社会的格差領域を担当。
  - 4) その他——①招待講演：ノルウェー科学技術大学における日本・ノルウェー合同セミナーで「介護サービスの質」について講演、アジア・オセアニア老年学会の在宅サービスの質に関するシンポジウムで講演、②国際学会での研究報告：国際社会学会第19研究委員会年次大会、および東アジア社会政策会議で、介護サービス提供体制の再編成について研究報告
- 1) Research project supported by The Grants-in-Aid for Scientific Research----
  - a) Analysis of the Formation and Change in the Japanese System of Social Welfare Services.
  - b) Development and Evaluation of Intensive Community Care and Residential Care Utilization Management Programs.
  - c) Program Evaluation for the Development of Effective Social Care Models
  - 2) Research project conducted as part of the Communication System Development Program---
  - a) Policy Evaluation in Human Service Programs.
  - b) Analysis of the Attitudes to Social Security.
  - 3) Research project conducted as part of the Global COE Program
  - 4) Miscellaneous: Invited Lectures in Norway and China. Paper presentations at international conferences in Italy and in Japan.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

<学部>

社会政策論 I :

社会政策の政策科学的な研究の分析枠組みの概要を講義。

社会政策論演習 I :

新しいリスクに対応する社会政策の研究

社会政策論演習 II :

年金、若者雇用政策、介護政策等の国際比較

社会学研究指導 1・2、卒業論文：卒業論文指導

<大学院前期課程>

社会福祉論演習 :

各分野における最新の研究動向を示す論文の検討

社会政策論：高齢者介護のサービス評価

政策科学：

ヒューマン・サービスに関する政策科学的研究の枠組みと手法を講義。

<大学院後期課程>

演習 1、演習 2：個別指導、研究発表と討議

このほか、特別教育研究経費による事業「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応」(4カ年計画)のリーダーをつとめ、新たな教育プログラムの開発に取り組んだ。また、この事業の一環として、国内でほとんど類例のないヒューマンサービスの政策評価に関する副専攻(大学院博士前期)をスタートさせた。

<Undergraduate courses>

Social Policy I:

Outline of policy-oriented analysis of social policy

Social Policy Seminar I: New risk and social policy

Social Policy Seminar II:

International comparison of pension, youth employment and long-term care policies

<MA courses>

Social Welfare Seminar:

Review of journal articles for major topics of social policy analysis

Social Policy Seminar:

Program evaluation in long-term care

Policy Science:

Outline of policy-oriented studies on human services

<Ph.D. Courses>

Seminar I, Seminar II:

Supervision of research and discussion.

## ◆研究計画

現在取り組んでいる研究、および今後取り組む予定の研究の主なテーマは以下の通りです。

1. 介護・福祉分野のサービス・プログラムの開発と評価に関する研究
2. 介護・福祉分野の質の確保策についての総合的な研究
3. 生活リスクの変容に対応した社会保障改革のあり方と、改革に関わる合意形成に関する研究
4. 社会保障・社会福祉に関する諸学問分野の研究史の検討
5. 社会保障・社会福祉の制度設計が、格差構造の再生産に及ぼす影響の研究

可能な共同研究のテーマとしては次のことが考えられます。

1. 介護サービス分野の効果的なプログラムの開発と評価方法についての研究(自治体、福祉・医療施設等との共同研究)
2. 合意形成可能な年金、医療改革についての世論調査の実施と解析(報道機関、調査機関等との共同研究)

## ◆メッセージ

他の国立大学にはあまりみられない本学の特色の一つとして、①家族に関する専門的研究を行っている社会学・心理学・経済学・法学等の教員、②社会保障・社会福祉・雇用労働等を専門に研究している教員が多く、この分野の研究・教育が充実していることをあげることができます。特に、社会保障・社会福祉等の分野の研究者、高度な専門性を持った職業人の養成に対する社会的な期待は高く、この分野の大学院レベルでの教育の充実をさらに図っていきたいと考えています。これらの分野の研究者や専門的職業人を目指す方の入学を期待しています。